

めぐみの森だより

2025 年 4 月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448



進級・入園おめでとうございます



3月、無事に24名の子どもたちを送り出すことができました。近年、5歳児クラスが24名揃っておらず、体調不良等もあり、全員出席しての卒園式を実施することができていませんでしたが、数年ぶりに24名が揃って卒園式を迎えることができたことが何より嬉しかったです。

新入園のみなさま、めぐみの森保育園によろこそいらっしゃいました。新しい方々との一期一会の奇跡の出会いに感謝しつつ、丁寧に過ごしていきたいと思います。進級を迎えたみなさま、移行期間の幼児クラスでは隣のクラスに移行したお子さんが、トイレを終え、間違えて元のクラスに入ってきてしまうという可愛い姿が今年も見られるスタートでしたが、引き続き子どもたちの成長を共に喜ぶことができる日々を送っていきたくて思っております。

皆様よろしくお願いいたします。



3月19日「異年齢クラス(縦割りクラス)への移行説明会」を実施しました。保護者の方からは、先の見えないことへの不安、現在日々とても安心して過ごしているのに、なぜ縦割りクラスへの移行を進めていくのか等様々な声をいただきました。こちらからお伝えしたこと、参加した保護者の方からの質問等ありましたので、後日報告させていただきます。

説明会の中では、こんな場面もお伝えしたので改めて紹介します。

移行前のある日、園庭でつくし組(0歳児)、れんげ組(1歳児)、すみれ組(2歳児)が遊んでいた時のこと。れんげ組の A さんが、ボールで遊んでいたつくし組の B さんの後を追いかけて、あちこち転がってしまうボールを B さんが使えるように、“そーとそーと”B さんの方へ転がしていました。B さんはそんなことに気づかず遊び続けているのですが、A さんはそれでも何度もボールを B さんに向かって転がしていました。れんげ組での A さんといえば、友だちが近くに来るだけで、「こないで。」と怒ったり、おもちゃの貸し借りもなかなか譲ってあげられなかったりするお子さんですが、1つ下の B さんには頼まれてもいないのに自分からボールを渡しており、何よりその時の A さんの穏やかな表情が印象的で思わず見入ってしまいました。聖書には、「受けるよりは与える方が幸いである。」という箇所があります。これは、与える方が優れているといっているわけではなく、たくさん甘えてたくさん助けてもらい受ける喜びを知ると、自然と与える喜びへと向かっていくのではないかと解釈されています。

異年齢クラスへの移行と、新しい方向へと向かっていこうとしていますが、今まで大切にしてきたように、これからも子どもたちひとり一人の最善の利益を考え、日々を丁寧に過ごしていきたいと思っています。

記:園長 藤本 紘子



＜今月のお気に入り紹介＞

『マリメッコ』

知っている方も多いと思いますが、フィンランドのブランドで、可愛いウニッコ柄が定番です。とはいっても、値段はちょっとお高めなので、今までバックや靴下を買うことはありましたが、洋服を買うことはありませんでした。先日、とうとうウニッコ柄のジーンズを手に入れました。ジーンズにしては驚きの値段でしたが、ポイントでためたルミネ商品券を利用して購入しました!!! 園に履いてくると、さっそく K 先生に「可愛い」と褒めてもらいました。頑張った自分へのご褒美に購入するなんて時にいかがですか。

[Marimekko \(マリメッコ\) 日本公式オンラインストア](https://marimekko.jp/)

